

カーボンニュートラルと建築家 (3)

2050CN
(1) Boundary (2) Average (3) Amount

Architect
(4) Demand (5) Function (6) Ability

何のための2050CNなのか。

将来も人類が地球で生存するために、温室効果ガスの「排出－吸収」を2050年以降は±0以下にする。

(3) … 建築敷地内で±0を超えてしまう場合、敷地外で吸収源を増やすことも有効なのか。

① 人起源の温室効果ガス (地球)

CN2050は、人為的に、人/動物/微生物による排出を減らし、植物/微生物等により吸収するミッション。

図(3)①

生物種類別の排出/吸収量の変化 (世界)

② 排出減と吸収増 (日本)

日本全体で2050年に±0以下とするには、温室効果ガスの排出削減と吸収増加、両方の数値目標が必要。

図(3)②

2050CNからのバックキャスト (日本)

③ 建築と空家/空地

建築の2050CNには、空家/空地を、使う建築(既存/新築)の排出に対する吸収源に変える必要がある。

図(3)③

建築敷地での削減割合

使う建築、使わない建築

個々の建築Boundaryではなく、総量として2050CNを達成したい。

図(3)④ 使う建築と空家/空地の組合せ

使う建築と、
空家/空地、
両方をセットにして、
2050CNを考えることができないか。

人起源の温室効果ガス (地球)

- ・ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○。
- ・ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○。
- ・ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○。

● 総人口に必要な食料は、温室効果ガス排出が少ない、または吸収可能な農水産物/農地/水域でまかなう。

排出削減と吸収増加 (日本)

- ・ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○。
- ・ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○。
- ・ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○。

● 温室効果ガスの排出削減が目標に満たない場合、不足排出量分、吸収量は増加目標を上回る必要がある。

建築と空家/空地

- ・ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○。
- ・ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○。
- ・ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○。

● 建築(と敷地)の削減後の排出量に対し、吸収源として空家/空地を活用する方法を考えたい。